

# プラネ新聞

発行所 岐阜市科学館  
〒500-8389  
岐阜市本荘3456-41  
TEL: 058-272-1333  
FAX: 058-272-1303

## 12月大天体ショーが始まる



12月17日、午後6時頃に注目です。南西の空を見てください。土星と木星がびたっと寄り添っています。

12月17日、午後6時頃に注目です。南西の空を見てください。土星と木星がびたっと寄り添っています。

12月17日、午後6時頃に注目です。南西の空を見てください。土星と木星がびたっと寄り添っています。

12月17日、午後6時頃に注目です。南西の空を見てください。土星と木星がびたっと寄り添っています。

**木星と土星が衝突？ そんなことが...？**  
**あるわけない 大接近でしたあ 注目!?**

12月17日、午後6時頃に注目です。南西の空を見てください。土星と木星がびたっと寄り添っています。



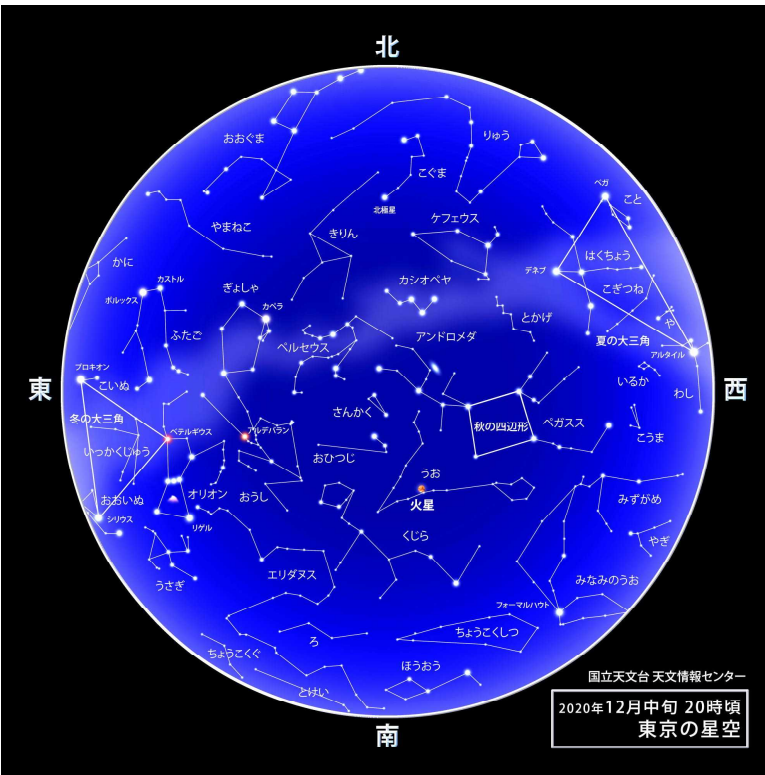
「ご存じ、ちびまる子ちゃんです。まる子の「地球は回っていることは誰が発見したのか」という疑問を学校で話し合い、学習していくうちに、もっと地球や宇宙のことを学習したいという思いが強くなった。そこで皆で科学館へ調べに行くことになった。

そこでは大昔の人々が考えていた地球の姿、宇宙の姿に驚く。いったいどのようだったのでしょうか。見てくださいね。

**「ちびまる子ちゃん」**  
プラネ人気番組の紹介

速いスピードで太陽の周りを一周しているのかわかりますね。逆に、木星や土星はゆっくり一周しているのです。地球がこの両者を追い越していくのですね。ですから見え初めは東の空にあった木星や土星でも、抜かされて西へ西へと移動していくように見えるのです。木星と土星の位置関係も同じです。木星の方が土星より速い速度で一周しているので土星を追い越していくのです。ですからその距離がどんどん縮まり、ついには逆転していくのです。来年の夏に見えたときには木星の方が土星より東に位置しています。どうです？宇宙からちゃんと太陽系が見えましたか。

また、今回は12月21日には一つの望遠鏡の視界の中にこの両者とその衛星達がすっぽりと入るすばらしい光景を目にすることが出来ますよ。



**不満たらたらな秋の星座達!**

今回は「不満たらたらな秋の星座達！」と題してお送りいたします。今夜は南の空から西の空にかけて、秋の星座達のびびと展開していきます。そんな秋の星座達ですが、何が不満なのでしょう。これからは独断と偏見をお許しください。解説していきます。先ずは不満第一号としてみずがめ座を上げましょう。普通、神話の中では星座にしてもらうことは非常に名誉なことですが、しかし、このみずがめ座の主人公ガニメデスはある褒美として星座に選ばれたのですが、彼の姿を見てくださいます。右手1本である重い瓶を

ずっと担ぎ通さなければならぬのです。これは大変不満でしょう。不満その二、うお座の子どもの方。水瓶の流れ出るお酒を飲もうとしても、お母さんにひもを引っ張られて飲めません。もう少しなのにね。不満その三、くじら座。なんとクジラの頭の上におひつじが腰掛けているではありませんか。うつついでしょうね。不満その四、アンドロメダ座。頭の星アルフェラツツの意味は「馬野へそ」です。なんとかしてくれ！という叫びが聞こえそうですね。最後の不満はペルセウス座。あれだけ命がけでアンドロメダを救ったのに、結婚してからは足で踏まれてる。「恩知らずめ！」と控えめに叫んでいるのが聞こえるようです。